

F★★★★

ホルムアルデヒド登録認定商品

低汚染

高耐候

高光沢

防水性

防カビ

防藻性

完全水系総合外装仕上げ工法

アレスホールド工法&デコ

STANDARD PATTERNS & COLORS

ALES HOLD SYSTEM & DECO

〈特許 第2610085号〉 JIS A 6909 建築用仕上塗材 可とう形改修塗材 E



関西ペイント

■アレスホールド工法&デコ

■旧塗膜のテクスチャーを活かした仕上げ



- ◀アレス
アクア
シリコンACII
(KP-112)
- ◀アレス
ホルダーGII
(ウールローラー)
- ◀吹付タイル



- ◀アレス
アクア
シリコンACII
(KP-112)
- ◀アレス
ホルダーGII
(ウールローラー)
- ◀リシン

■旧塗膜のテクスチャーを変えた仕上げ



- ◀アレス
アクアレタン
(KP-120)
- ◀アレス
ホルダーGII
(多孔質ローラー)
- ◀吹付タイル

アレスホールド工法デコ (高原模様)



- ◀アレス
アクアレタン
(KP-120)
- ◀アレス
ホルダーGIIデコ
(吹付け)
- ◀リシン

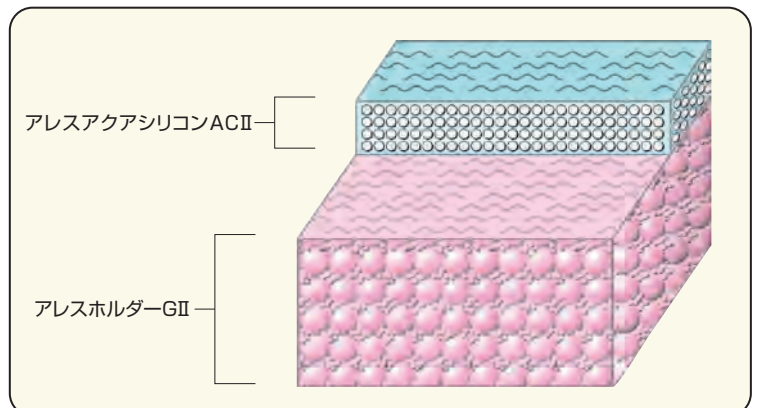
ホルダーGIIの特長

- 1 下地調整材
- 2 下塗材
- 3 中塗材

●アレスホルダーGIIとは

水性反応硬化形エマルジョンを用いた微弾性下地調整材です。

本品は下地調整材、下塗材、中塗材に必要な各性能をすべて持っており、塗装方法の選択により、テクスチャーのコントロールも自由自在にできます。



ホールディング工法・上塗各種の特長

●アレスアクアレタン
(水性反応硬化形ウレタン)

●アレスアクアシリコンACⅡ
(水性反応硬化形アクリルシリコン)

高光沢

防カビ・防藻

無鉛

超高光沢

防カビ・防藻

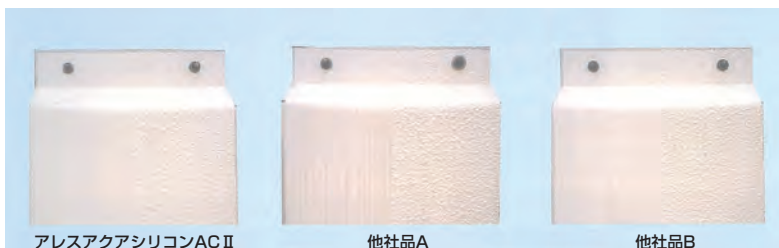
無鉛

耐候形1種

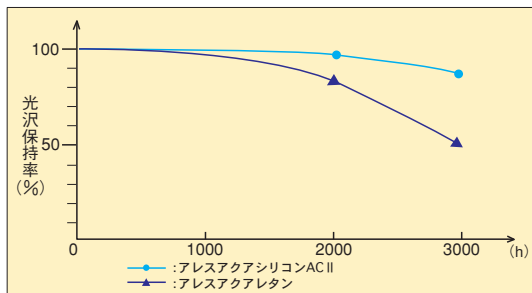
低汚染

耐汚染性

耐雨筋汚れ性試験板(屋外曝露:東京都大田区1年間)

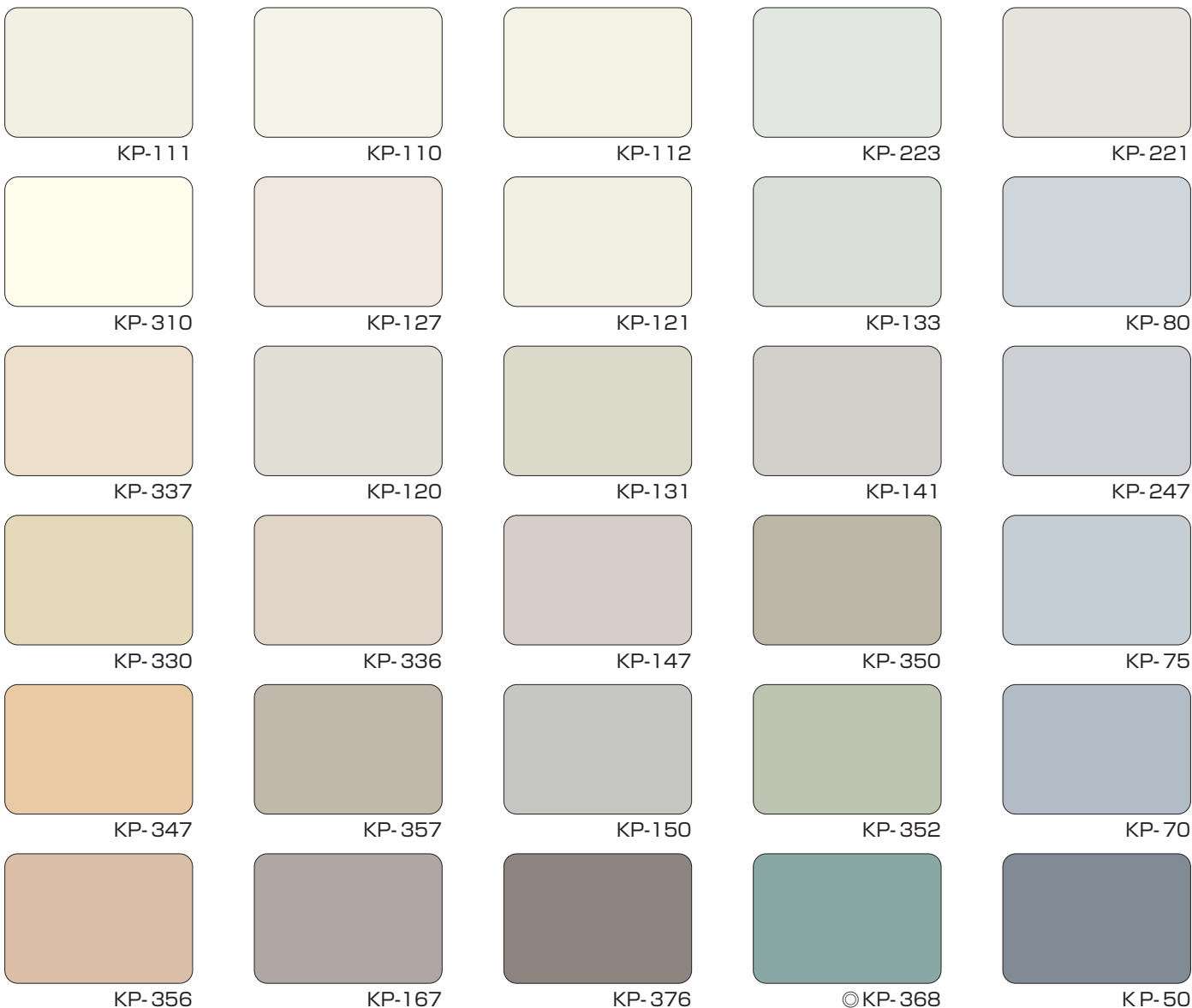


耐候性グラフ(キセノンランプ法)



提案色見本

近年の住宅の流行色を厳選し、お客様のニーズに対応できるカラーバリエーションにしております。



●この色見本は紙に塗装していますので、実際の色・ツヤが多少異なる場合があります。予めご了承ください。
●提案色以外でも日本塗料工業会色見本帳などでの調色も可能です。◎は材料費が割高になります。

〔標準塗装仕様〕

〔アレスホールド工法〕

工程		塗料・処置	塗装回数	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (%)	
1	素地調整	新設	エフロ・レイタンス・ゴミ・汚れなどをワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを用いて除去・清掃し、(pH10以下、含水率8%以下とする。)(注1)					0
		塗替	クラック、鉄筋の露出、漏水などの部分に適切な補修を施す。劣化塗膜をケレン工具(皮スキ、ワイヤーブラシ)で除去し、ホコリ、汚れ、チョーキング粉を高圧水洗で除去する。(注2)					
2	下地調整材 (下塗・中塗)	アレスホルダーGⅡ 上水	1	0.3~1.5	8時間以上 7日以内	ローラー エアレス・吹付け	下記参照	
3	上塗	ウレタン樹脂仕上げ	アレスアクアアクリル 上水	2	0.13~0.16	2時間以上 7日以内	ローラー エアレス	3~10
		アクリルシリコン樹脂仕上げ	アレスアクアシリコンACⅡ 上水	2	0.13~0.16	2時間以上 7日以内	ローラー エアレス	5~10

注) 1. シーラーは、浸透形Mシーラー、エポキシシーラーなども使用できます。
 2. 塗り替えて下地が脆弱な場合、吸込みが大きい場合、下地補修部にはシーラーを塗装してください。
 3. 標準所要量は、被塗物の形状や下地の状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。(平滑面では下限値を目安としてください。)

〔標準塗装仕様〕

〔アレスホールド工法デコ〕

工程		塗料・処置	塗装回数	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (%)	
1	素地調整	新設	エフロ・レイタンス・ゴミ・汚れなどをワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを用いて除去・清掃し、(pH10以下、含水率8%以下とする。)(注1)					0
		塗替	クラック、鉄筋の露出、漏水などの部分に適切な補修を施す。劣化塗膜をケレン工具(皮スキ、ワイヤーブラシ)で除去し、ホコリ、汚れ、チョーキング粉を高圧水洗で除去する。(注2)					
2	下地調整材ベース吹き	アレスホルダーGⅡデコ 上水	1	0.8~1.5	2時間以上 7日以内	下記参照	0~3	
3	下地調整材玉吹き	アレスホルダーGⅡデコ 上水	1	0.8~1.2	8時間以上 7日以内		0~3	
4	上塗	ウレタン樹脂仕上げ	アレスアクアアクリル 上水	2	0.13~0.16	2時間以上 7日以内	ローラー エアレス	3~10
		アクリルシリコン樹脂仕上げ	アレスアクアシリコンACⅡ 上水	2	0.13~0.16	2時間以上 7日以内	ローラー エアレス	5~10

注) 1. シーラーは、浸透形Mシーラー、エポキシシーラーなども使用できます。
 2. 塗り替えて下地が脆弱な場合、吸込みが大きい場合、下地補修部にはシーラーを塗装してください。
 3. 標準所要量は、被塗物の形状や下地の状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

〔塗装条件〕

アレスホルダーGⅡ

塗装方法	ウールローラー	多孔質ローラー	リシガン	タイルガン	エアレス(※)
希釈率 (%)	5~10	1~5	7~10	7~10	7~15
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.3~0.5	0.8~1.5	0.7~1.0	0.7~1.2	0.7~1.2
希釈剤	上水				

■ 品名・荷姿

下塗……………エコカチオンシーラー	15kg	上塗…★アレスアクアグロス	15kg
下地調整材…アレスホルダーGⅡ	16kg	★アレスアクアアクリル	15kg
アレスホルダーGⅡデコ	20kg	★アレスアクアシリコンACⅡ	15kg
		アレスアクアセラシロン	15kgセット
		★コスモレタン	15kg
		★コスモシリコン	15kg

★は、JIS A 6909可とう形改修塗材E上塗材適合品

■ 施工上の注意事項

- 1) 新設のセメントモルタルやコンクリート面は、含水率8%pH10以下になるまで乾燥させてください。
- 2) 塗替の場合、旧塗膜の劣化が著しいときは、サンダー・ワイヤーブラシなどで古い塗膜を除去し、高圧水洗を行ったのち1日乾燥後、塗付してください。
- 3) 気温5℃以下、湿度80%RH以上、また、降雨・降雪・強風が予想される場合は、塗装を中止してください。
- 4) 旧塗膜がスタッコのような場合は、各工程の塗料を十分に塗り込んでください。
- 5) 軽量モルタル、ALC(軽量コンクリート)、高断熱型断熱サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法などの「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なると、塗膜のひび割れが生じることがあります。旧塗膜をラッカーリナー拭きで簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗に「マルチアイルコンクリートプライマー-EPO」を塗装してください。
- 6) 濃彩色の塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類履具類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。

〔塗装条件〕

アレスホルダーGⅡデコ

塗装方法	ベース吹き		玉吹き	
	万能ガン	エアレス(※)	タイルガン	エアレス(※)
希釈率 (%)	0~3	0~3	0~3	0~3
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.8~1.5	0.8~1.5	0.8~1.2	0.8~1.2
希釈剤	上水			

(※) エアレスは、ブランチャー式高粘度用を使用してください。

■ 性能 アレスホルダーGⅡ~アレスアクアアクリル

項目	結果	規格値
ゼロスパン (mm)	0.5	—
伸び率 (%)	75	—
抗張力 (N/mm ²)	1.2	—
付着強さ (N/mm ²)	標準状態	1.0
	浸水後	1.0
透水性 (ml)	0.1	0.5以下
温冷サイクル (10回)	良好	異常なし

ご使用上の注意事項

- 下記の注意事項を守ってください。
- 詳細な内容については安全データシート (SDS) をご参照ください。

■ 予防策

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気スプレーを吸入しないこと。必要なら保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク又は、送気マスクを着用すること。
- 又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、顔・首・腕・手・足・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 本来の目的以外に使用しないこと。(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔・手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

■ 対応

目に入った場合・道中に、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
 皮膚に付着した場合・道中に拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

- 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂・布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取る。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■ 保管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■ 廃棄

- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

■ 施工後の安全

- 本品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工主に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本社 TEL (03) 5711-8904 FAX (03) 5711-8934
 北海道 TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757
 東北 TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073
 北関東 TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223
 東京 TEL (03) 5711-8905 FAX (03) 5711-8935

中部 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981
 大阪 TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603
 中国 TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285
 四国 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950
 九州 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

ご用命は

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

(18年09月17日POM) カタログNo.298
 頒布価格 1,500円(税込)